

# 山口県大島防災センターだより

山口県大島防災センター 〒742-2301 山口県大島郡周防大島町大字久賀5066-5 TEL0820-79-1133  
E-mail : bousai@town.suo-oshima.lg.jp

第68号  
令和3年3月

東日本大震災から、10年が経過しました。  
災害に備え、日頃の防災対策を今一度確認しましょう。

## 家族で防災会議

災害時に家族があわてず行動できるように、実際に災害が発生したときのことを想定して、家族で防災について話し合っておきましょう。

### ①一人ひとりの役割分担を決めましょう

□誰が何をするのか、何が必要なのか、事前に確認しておきましょう。

※役割分担の例

- 火元を消す人 □ブレーカーや電源を切る人
- 非常用品を持ち出す人 □お年寄りや病人を保護する人



### ②家の危険箇所をチェックしましょう

- 家の内外や周辺に危険箇所がないか、定期的に確認・点検をしましょう。
- 危険箇所がある場合は、修理や補強などの安全対策について話し合きましょう。

※安全対策の例

- 家具などの転倒防止(L字金具・支柱などを利用) □家具の上に重いものや危険なものを置かない □通路や出入口に荷物を置かない
- 雨どい・排水溝などを掃除(スムーズな排水に)
- プロパンガスボンベの固定



### ③非常持出品・備蓄品をチェックしましょう

- 家族構成を考えながら、必要なものがそろっているか確認し、準備しておきましょう。
- 定期的に保存状態や使用期限などを点検し、必要があれば交換しておきましょう。
- 食料や水など期限の短いものは、ローリングストックでの備蓄が勧められています。

※ローリングストックとは、普段から少し多く食糧等を購入、使った分だけ買い足すことで、一定量を備蓄する方法です。

## ④災害時の連絡方法や避難場所を確認しましょう

- 家族が離ればなれになった場合の連絡方法や地域の避難場所(避難所)を確認しましょう。  
災害の直後は、しばらく電話が不通になることもあります。連絡がつかない場合も想定し、状況に応じて、互いの避難場所や最終的な集合場所を決めておきましょう。
- 災害に応じた避難ルートについて話し合い、災害時に速やかに避難できるように、休日などを利用して家族で歩いてみましょう。
- 地震などの大きな災害が発生した際は、電話などの通信回線が混雑します。  
NTT、携帯電話会社、インターネットなどから利用できる**災害用伝言サービス**を活用しましょう。



## ⑤隣近所で声を掛け合いましょう。

- 災害の情報を入手したときや、避難情報が発表されたときは、隣近所でお互いに声を掛け合っていざというときに備えましょう。

### 災害時のペットの預け先を見つけておく

避難所生活はペットにとって良い環境とは言えません。被害のなかった方がペットを預かるというように、親類や親友などお互いに約束しておくことで安心です。また、預け先の人に迷惑をかけないよう、日頃のしつけをしっかりと、健康管理の仕方など飼育メモの準備もしておくことでよいでしょう。



### 来館者紹介

1月・2月 見学団体

周南市中央地区民生委員児童委員協議会



町内及び近隣住民の皆さん、近くまでお越しの際は、一度来館してみてください。  
平常時(9時~17時)であれば、当センターは自由に入館して、展示物を見て体験することができます。  
なお、毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始は休館日となっています。

山口県大島防災センター

Tel(0820)79-1133

Fax(0820)72-1166

E-mail : bousai@town.suo-oshima.lg.jp